

平成 29 年度第 2 回亀岡市環境基本計画推進会議の要旨について

平成 30 年 2 月 28 日（水）  
午後 2 時 30 分～4 時 30 分  
亀岡市役所 202、203 会議室

1 審議内容

1) 亀岡市環境基本計画の取組状況について

平成 28 年度第 2 次亀岡市環境基本計画の取組の進行状況を説明

主な意見	回答
し尿からメタンエネルギーとして発電を検討してはどうか。(P. 2)	(意見のみ)
どのような苦情があったか。(P. 2)	臭気や野焼きの煙に対する苦情が非常に多くあります。
リーフレット「わたしたちのかわ保津川」はどのような内容で、どこに配ったのか。(P. 2)	亀岡が保津川とどのように関わってきたかという内容で、「フォーラム地域のたから」等で配布をしました。
環境フェスタ実施していないのではないか。(P. 3)	平成 28 年度は環境フェスタを実施しており、平成 29 年度からサイエンスフェスタで普及啓発を行っています。
バイオマス発電に小型の技術が進んできているため、亀岡市でも検討してほしい。(P. 4)	(意見のみ)
亀岡ふるさとエナジー(株)のことを記載しなくてよいのか。	平成 29 年度の報告書に記載予定です。
地球環境子ども村での環境学習について数字だけでは分かりにくい。(P. 7)	引率者を含んだ人数となっております。次回の会議から改善していきます。
なぜアユモドキは亀岡と岡山にしかいないのか。(P. 4)	一時的水域という場所でしか産卵しない特性と、外来魚による被害、少し昔には乱獲があったこと等が原因と考えられています。
日本全国に同じようなところがあれば、アユモドキが発見されるかもしれない。(P. 4)	調査でわかっているのは亀岡と岡山のみです。
アユモドキの推定個体数は。(P. 4)	平成 29 年 9 月現在で、当歳魚 571.3 匹、1 歳以上魚 255.8 匹です。

全体的に中身が分かりづらい。	報告の方法を改善していきます。
報告だけで終わらずに、次につなげていくことが大事。	(意見のみ)
専門用語は分かりにくいいため、もう少しわかりやすいように工夫してほしい。	改善していきます。
何が課題で何を対策したかを記載すべき。	改善していきます。

## 2) 地球温暖化対策に関する意見交換

主な意見
再生可能エネルギーに関わりたい市民に対して、亀岡ふるさとエネルギー(株)から展望等の説明会を開催してほしい。
保育園や学校等で省エネや再エネを推進し、LED化を進めてほしい。
亀岡ふるさとエネルギー(株)の利益を活用して省エネに取り組んでいくべき。
企業ではCO2排出量の約90%が電力使用量のため、いかに電力を抑制するかが大きなポイントとなる。
これまでの地球温暖化対策は啓発がメインであったが、近年、啓発だけでなく補助制度等により対策を進めており、汗をかくだけでなく経済的に両立できるものとなってきている。
環境学習では、タブレットを取り入れることで楽しみながら学ぶことができ、自主的に勉強しようと思わせることが大事。
地球温暖化対策は、緩和策ではなく適応策に切り替えていく必要がある。
LED化は、わずか数年で投資回収ができ必ず採算がとれる。あと2年で蛍光灯が作れなくなるこのタイミングで広めるかどうかの議論をしてはどうか。
環境に対して関心のない人にどのようなアプローチをしていくのが行政の課題。
子どもを対象にしたイベントを開催すれば、親も一緒に来てくれるため、一緒に学ぶことができる。
亀岡ふるさとエネルギー(株)がBEMS関係を上手く利用して料金差をつけ、地域をスマートグリッド化していくのが良い。
学校の学習指導要領に廃棄物は定められているが、温暖化対策は定められていないため、廃棄物と一緒に学べるカリキュラムを作成すれば、先生が利用してくれやすい。
専門用語を市民の方にも分かるように噛み砕いて説明することが必要。

3) みどりのカーテンコンクール応募作品の審査結果について

(審査結果)

個人の部	…	最優秀賞	松本 秀哉
		優秀賞	黒満 淨
事業所の部	…	最優秀賞	亀岡市立曾我部小学校
		優秀賞	社会福祉法人 利生会 第二亀岡園ケアハウス